

## 外ヶ浜町総合計画審議会およびパブリックコメントの主なご意見とその対応

### ■第1回総合計画審議会意見と対応

第1回総合計画審議会

令和2年2月25日（火）開催

欠席委員 張山委員・田中委員 ※張山委員からは意見なし・田中委員からは後日意見あり

委員からのご意見	対応
<p>(木浪委員)</p> <p>計画は作るだけでなくどれだけ実行し、地域の活力になるかが重要です。</p> <p>水産業の分野では、6次産業化を推進するなど、地域で水産物に付加価値をつけていくための拠点づくりが重要です。</p> <p>去年ホタテ漁は豊漁であったが、低価格すぎて利益が思うように出ませんでした。市場を頼りにするような価格設定ではなく、6次産業化を進め、利益が上がる価格設定ができれば、後継者問題も解決できるのではないかと考えます。</p> <p>また、水産物のブランド化や国内外への販路拡大など、付加価値を高める取り組みは必要であると考えます。</p> <p>それらの動きを進めるためには、一漁協の力だけでなく行政との協力関係が必要だと思えます。</p>	<p>P55～P56</p> <p>〈施策3〉(3)水産業の振興</p> <p>「主な取組み」の各事業の表記で対応。</p>
<p>(牧野委員)</p> <p>一次産業については、後継者の育成が課題であるといえます。三厩漁協の組合員もここ1年で10名ほど減少しています。</p> <p>近年はサーモン養殖で雇用が生まれていますが、サーモンの加工場などができれば、雇用の創出が期待できます。</p> <p>漁業の人材育成や担い手の確保は、安定した収量が見込めないため、非常にハードルが高いと思います。外部から人を呼び込んで、担い手を確保するためには漁協と町が一体となって進めていく必要があると思います。</p>	<p>P56</p> <p>〈施策3〉(3)水産業の振興</p> <p>「主な取組み」【三厩龍飛】にサーモンの表記を追加し対応。</p>
<p>(宮田委員)</p> <p>2065年で人口2500人を目指すとあるが、人口2500人になってこの地域を維持できるのか不安があります。</p> <p>インフラや予算などのコストは限りがあるので、人口が少なくなっても町が維持できるよう、コンパクトシティを推進するなど、効率的な運営は考える必要があると思います。</p>	<p>P83</p> <p>〈施策9〉(9)集落の整備</p> <p>「主な取組み」に小さな拠点整備を表記し対応。</p>

委員からのご意見	対応
<p>(齊藤委員)</p> <p>人口ピラミッドを見れば、これで町が成り立つのか不安になります。石崎地区などでは、集落が無くなるのではないかと危惧しています。公共的な施設にみんなで住んでしまえばよいのではという話をしなければならぬような状況になっていると思います。</p> <p>小中学校が統合し、生活していても子供の声が聞こえてきません。このままでは町が衰退していくのかなと感じることもあります。</p> <p>以前、八戸市の小規模な学校に赴任したことがありました。全校児童が30人を切ると合唱などの活動を維持するのが非常に難しいと感じました。人口減少は今に始まったことではないので、もう少し早く対策できればよかったと思っています。</p>	<p>P71</p> <p>〈施策3〉(3)学校教育の充実</p> <p>「主な取組み」に少子化に伴う教育環境整備を表記し対応。</p> <p>P83</p> <p>〈施策9〉(9)集落の整備</p> <p>「主な取組み」に小さな拠点整備を表記し対応。</p>
<p>(伊藤委員)</p> <p>三厩小学校も複式化するなど人口減少は日々進んでいると感じています。若い人の収入源がなければ、子供の数も増えていかないという現状だと思います。青函トンネル工事や誘致企業などで、雇用があった時期もありますが、現在はそれらの雇用は見込めません。</p> <p>農業や漁業の法人化を進めるなど、若い人を雇用しながら人材を育成できる仕組みができていけば一次産業も続いていくのではないかと思います。下北では他県から、移住者を募り漁業に従事する人材を育成している事例があると聞きます。芸術家の移住者を受け入れて、空き家を再生したり、インターネットを活用したり新しい発想で事業に取り組んでいただければと思います。</p> <p>これからは、連携中枢都市圏など広域で事業を推進しないと、財源が確保できないのではと考えます。国や県の補助制度などもうまく活用し、事業を推進していただければと思います。</p>	<p>P61～P62</p> <p>〈施策7〉〈施策8〉の表記で対応。</p> <p>P65</p> <p>〈施策2〉の表記で対応。</p>

委員からのご意見	対応
<p>(鷲岳委員)</p> <p>平成元年から幼稚園の運営を引継ぎ30年ほど経過しました。当時は新たな園舎の建設のため、県の補助をいただくため県庁に頻繁に足を運んでいました。当時は20年後の蟹田町の子供(利用者)の数が20人になると言われました。</p> <p>こども園を設立するため、現在の園舎を建設する際は、幼稚園が27人保育園が40人利用していたので、定員80名で運営したかったのですが、60人分の施設の要件しか満たしていないということになり、規模を縮小して建設することになりました。その後、はまなす保育園が閉園となり、4年前は103名の利用者まで増えましたが、毎年10名程度減っていき現在87名で運営しています。現在は青森市内や蓬田、仲泊など周辺自治体からの広域入所が20名ほどいます。</p> <p>スタッフを確保するため、働き方改革に取り組みました。取り組んだ結果、休みが増えた影響か先生方にやる気があふれてきたように感じます。近年、障がい児などの割合は増加傾向にあり、スタッフの負担は増えますが、この町に子供たちがいるうちは、質のいい施設を維持していきたいと考えています。安全な施設運営のためには園の周りの側溝など環境整備などもしていただけたら助かります。</p> <p>子育て対策としましては、インフルエンザなどの法定外の予防接種の無料化などが推進できればいいのではと思います。</p>	<p>P69</p> <p>〈施策1〉(1)の主な取組みのなかに予防接種への助成という表記を追加。</p>
<p>(高坂委員)</p> <p>若い人がいない、子供が生まれにくいという状況下で、お年寄りがお年寄りを支えなければならぬ時代が来ることを見越して、老人クラブなどで、お年寄りが互いに支え、互いに見守るという取り組みを実践しています。それにより、自分がだれかを支えているという意識を持つことで、生きがいを感じてくれればよいなという狙いがあります。</p> <p>この総合戦略には、福祉の課題や対応などが幅広く網羅されていると思いますが、具体的な施策については各課で計画を行っていますか。</p> <p>←総合戦略を策定する際に、福祉計画など各課の計画を参考にして策定しています。来年度策定する総合計画には、住民アンケートの結果などさらに具体的なものを盛り込む予定です。過疎計画については、各事業の事業費を盛り込むなどさらに具体的な内容になっていきます。</p> <p>総合戦略は、地方創生のあらゆる取り組みに対応するため、幅広く解釈できる表現を採用しています。</p>	<p>P78～P79</p> <p>〈施策5〉の表記で対応。</p>

委員からのご意見	対応
<p>(中野委員)</p> <p>三厩小学校が全校複式なので、子供たちだけでなく教員の負担も大きくなっています。小規模校は、教員の目が届きやすいという利点がある一方で、自分を表現する力や競争力が育ちにくいという欠点があります。</p> <p>児童の数を確保するためには、児童に対する支援を充実させることも重要ですが、児童を支える保護者などの大人に対する支援を充実させる必要があると考えます。</p> <p>蓬田村では、定住対策の結果1学年20人は維持できるのではと聞いています。</p>	<p>P69</p> <p>〈施策1〉の表記で対応。</p> <p>P71</p> <p>〈施策3〉(3)学校教育の充実</p> <p>「主な取組み」に少子化に伴う教育環境整備を表記し対応。</p>
<p>(野藤委員)</p> <p>第1期で目標を達成できたものとできなかったものをしっかり検証して事業を進めていってほしいと思います。</p> <p>何よりも若い人が定住できるような取組みを進めてほしいと思います。医療・福祉についてはしっかりとしたビジョンを持って計画的に進めてほしいと思います。</p> <p>観光面につきましては、客足が遠のく冬場の対策についても取り組んでもらえればと思います。</p> <p>計画が絵に描いた餅になるのでは意味がないので、少しでも実現性が高いもので考えていってほしいと思います。</p>	<p>P58</p> <p>〈施策5〉の主な取組みのなかに冬場の観光という表記を追加。</p>
<p>(田中委員)</p> <p>観光の情報など町の魅力を発信するツールをうまく活用してほしい。住民が町の魅力を実感・発掘するための街歩きのようなイベントを開催したりすればいかがか。</p> <p>小中学生などに、町の魅力を知ってもらうことで郷土愛をはぐくむという効果もあります。住民が参加する形の魅力発信の取組みを進めてほしいと思います。</p>	<p>P59</p> <p>〈施策5〉の主な取組みのなかに街歩きイベントの表記を追加。</p>

## 外ヶ浜町総合計画審議会委員

区分	氏名	所属等	職名
第二次外ヶ浜町総合計画 兼町総合戦略	中野 仁	外ヶ浜町教育委員会	教育委員
	張山 政博	外ヶ浜町農業委員会	会長職務代理者
	木浪 昭	外ヶ浜漁業協同組合	代表理事組合長
	牧野 勇次	三厩漁業協同組合	代表理事組合長
	宮田 宏志	外ヶ浜町商工会	副会長
	野藤 勝雄	町自治会連絡協議会	会長 ※蟹田地区
	齊藤 勲	町自治会連絡協議会	副会長※平館地区
	伊藤 達男	町自治会連絡協議会	副会長※三厩地区
	鷲岳 孝子	風のまちこども園	理事長
	田中 茂樹	(株)青森銀行	蟹田支店長
	高坂 真由美	町社会福祉協議会	事務局長

注) 敬称略、順不同

第2期外ヶ浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対する  
意見募集（パブリックコメント）実施要領および実施結果

## 1 実施目的と内容

外ヶ浜町では、まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口減少への対応と地方創生を目的とした「第2期外ヶ浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めています。

本町の実情に沿った地域性のある効果的な計画とするため、「第2期外ヶ浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」について、皆さんからのご意見をいただきたく、次のとおり 意見公募（パブリックコメント）を行います。

## 2 募集内容

「第2期外ヶ浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に対する意見

## 3 意見提出できる方

- ・町内に 住所を有する個人
- ・町内の事業所に勤務する個人
- ・町内の学校に在学する個人
- ・町内で活動する事業所及び団体

## 4 募集期間

令和2年2月21日（金）令和2年3月23日（月）

※郵送の場合は、3月23日（月）必着

## 5 応募方法

住所、氏名、電話番号等を明記のうえ、提出様式を次の方法で応募ください。

- (1) 直接持参 外ヶ浜町役場総務課へ提出
- (2) 電子メール soumu@town.sotogahama.lg.jp に送信
- (3) 郵 送 〒030-1393 外ヶ浜町字蟹田高銅屋 44-2  
外ヶ浜町役場 総務課 へ郵送
- (4) ファックス 役場備え付けの F A X（0174-31-1215）へ送信

## 6 戦略（案）の公表

町ホームページ（<http://www.town.sotogahama.lg.jp/>）および町役場2階 総務課にて公表します。

## 7 その他

お寄せいただいた意見は、十分に考慮の上、外ヶ浜町の考えとともに整理して公表することとします。公表の際は、プライバシーの保護に十分留意し、意見の内容以外は公表しないものとしています。また、電

話、口頭での意見は受け付けられないものとします。

なお、個々のご意見に直接回答はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

## 8 実施結果

意見の提出件数 0人・0件

意見等の取扱い	A 意見を反映	0件
	B 実施にあたり考慮	0件
	C 原案に考慮済み	0件
	D 説明・回答	0件